**＜9回目のお話＞　聖霊のバプテスマと聖霊充満**

◆**代表者による祈り**

◆**分かち合い**

聖霊のバプテスマを受ける時、どんなことが起こると思いますか。聖霊充満を受けた方にはどんな特徴がありますか。

◆**御言葉を開いてみましょう**

使徒の働き2:1-4

◆**御言葉を知る**

聖霊のバプテスマは全ての聖徒が受けるべき神様の祝福です。聖霊のバプテスマを受けて毎日聖霊充満を維持する聖徒は力ある信仰生活を送り、イエス様の品性を現すことができます。

**1．聖霊のバプテスマと聖霊充満の意味**

この世を生きていきながら私たちが受けることのできる一番大きな祝福は、救われて神様の子どもとなることです。私たちはこの素晴らしい祝福を「ボーン・アゲイン」すなわち「新生」と呼びます。ところが、私たちが受ける祝福はこれで終わりではありません。神様は新生したキリスト者のためにもう一つ別の大きな祝福を備えられましたが、それがずばり「聖霊のバプテスマ」です。

聖霊のバプテスマは、新生したキリスト者がもっと力強く主に仕えるようにと神様が下さる恵みの賜物です。聖霊のバプテスマは新生とは区別されるもので、新生が聖霊様の内住によって救いの確信を受けるようになる体験ならば、聖霊のバプテスマは聖徒の全人格が聖霊様に完全に漬かり、異言を語り、力ある信仰生活を送るようになる体験です。救われて神様の子どもとなった人ならば、必ず聖霊のバプテスマを受け、力と躍動感のある信仰生活を送らなければなりません。

聖霊のバプテスマは、聖徒が一生の間に一度だけ体験する出来事です。その反面、「聖霊充満」は聖霊のバプテスマを受けて全人格が聖霊に完全に漬かる体験をした聖徒が、これを根気よく持続していくときに現れる霊的状態を指します。ですから聖霊のバプテスマは最初の聖霊充満の体験でもあります。聖霊のバプテスマが必ず受けなければならない体験ならば、聖霊充満は必ず持続すべき体験です（エペソ5:18）。ですから聖霊のバプテスマを受けた聖徒は祈りと御言葉に専念して、聖霊充満な状態を変わることなく保たなければなりません。

**2．新生とは区別される聖霊のバプテスマに関する聖書的証拠**

聖書は様々な箇所を通して新生以後に聖霊のバプテスマを受けた人々について語っていますが、これは聖霊のバプテスマが新生とは区別される体験であることを証明します。代表的な例として使徒たちがいます。使徒たちはイエス様とともに生活しながらイエス様の復活も目撃し、イエス様を救い主として信じてすでに新生した者たちでしたが、イエス様が天に昇られてから五旬節の日に聖霊のバプテスマを受けました（使徒2:1-4）。そして執事ピリポが伝道したサマリヤ人たちがいます。サマリヤ人たちは執事ピリポの伝道を受けてイエス様を信じ、水のバプテスマも受けましたが、その後ペテロとヨハネの按手によって聖霊のバプテスマを受けました（使徒8:14-17）。最後にエペソの弟子たちがいます。エペソの弟子たちは、パウロが「信じたとき、聖霊を受けましたか」（使徒19:2）と聞くと、聖霊の与えられることは聞きもしなかったと答えた人たちでした。しかし、パウロが按手すると聖霊のバプテスマを受け、異言も語りました（使徒19:6）。

**3．聖霊のバプテスマを受けるべき理由**

すべての人々が救いを受けるべきであるように、すべての信じる人々は聖霊のバプテスマを受けなければなりません。何よりもイエス様は天に昇られる前に弟子たちに聖霊のバプテスマを受けるように命じられました（使徒1:4-5）。ならば、私たちが聖霊のバプテスマを受けるべき理由とは何でしょうか。

第一に、力あるキリストの証人となるためです（使徒1:8）。聖霊のバプテスマの主な目的は、主に仕えるための力をいただくことです。聖霊のバプテスマを受ける前、弟子たちはユダヤ人たちを恐れて隠れていた軟弱な者でした（ヨハネ20:19）。しかし五旬節の日に聖霊のバプテスマを受けてからは、声をあげて福音を伝える者たちに変わり、彼らが伝えた福音を聞いて数多くの人々が主に立ち返りました（使徒2:14-42）。私たちもこのように聖霊のバプテスマを受けるときに大胆で力ある福音の証人として立てられることができます。

第二に、聖い生活を送れるからです。神様は、救われた聖徒たちに聖くありなさいと語られました（ペテロⅠ1:16）。聖さは聖徒の目標であり、義務です。しかし、聖さは私たちの力では決して成し遂げることができません。なぜなら、私たちが救われたとしても肉体を着ている限りは絶え間ない罪の誘惑から自由であることはできないからです。しかし、聖霊のバプテスマを受け、聖霊充満を受ければ、私たちは罪の誘惑に勝ち、聖なる人生を歩むことができます（ローマ8:3-4）。聖なる聖霊様に頼って、聖さに向かって進まなければなりません。

**4．聖霊のバプテスマを受けるためには**

聖霊のバプテスマを受けるためには、まず救いの確信がなければなりません。聖霊のバプテスマは救われた者に与えられる神様の贈り物だからです。それとともに、罪に対する徹底的な悔い改めがなければなりません。ペテロは五旬節の日のメッセージの中で「悔い改めなさい。そして、それぞれ罪を赦していただくために、イエス・キリストの名によってバプテスマを受けなさい。そうすれば、賜物として聖霊を受けるでしょう」と言われました（使徒2:38）。聖霊様は聖い魂の上に臨まれます。何よりも切実に求める心がなければなりません。聖霊様は人格を持っている方ですから、望まない人に臨まれることはありません。聖霊のバプテスマは、慕い求める者に臨みます（ルカ11:13）。

最後に、聖霊のバプテスマを受けたいと願う聖徒が覚えておくべきことがあります。第一に、聖霊のバプテスマは神様の約束だということです（ルカ24:49）。聖霊のバプテスマは真実なる神様の約束なので、あきらめずに求めれば必ず受けることができます。第二に、聖霊のバプテスマは長い期間にわたる祈りに対する報いとか献身の代価ではなく、神様の主権的な贈り物であることを忘れてはなりません。つまり、神様は人の状態を見て聖霊のバプテスマを下さるのではなく、恵みの賜物として下さるということです。ですから、聖霊のバプテスマを受けられなかったからといって、自分の信仰を責めたり、落胆したりする必要はありません。絶え間なく求め、また求めるとき、神様は一番適切な時に聖霊の賜物を与えて下さいます。

◆**祈り及びとりなしの祈り**

1．聖霊充満を受けて力あるキリスト者になれるよう祈りましょう。

2．聖霊充満を受けて聖なるキリスト者になれるよう祈りましょう。

3．隣の人と祈りの課題を分かち合い、ともに祈りましょう。

以上の内容はヨイド純福音教会区域礼拝テキストから抜粋、追加、翻訳、再構成したものです。